

国民民主 こくみんみんしゅ Press

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1
電話: 03-3595-9988 (代表) メール: press@dmp.or.jp URL: https://www.dmp.or.jp

2020年1月号

【連絡先】 国民民主党茨城県第5区総支部 (浅野さとし事務所)

【国会事務所】
〒100-8981
東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第1議員会館 406号室
TEL: 03-3508-7231
FAX: 03-3508-3231

【日立事務所】
〒317-0071
茨城県日立市鹿島町 1-11-13
TEL: 0294-21-5522
FAX: 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



facebook



～ 新春対談企画 ～ 「東海村の未来を話そう」

山田 修 × 浅野 さとし

東海村長 衆議院議員



2020年新春を迎えるにあたり、山田修東海村村長との特別対談を実施しました。

昨年45年ぶりに茨城国体が開催され、これから東海村が目指す未来(人口減少対策、地域医療策、地域交通策、子育て支援策、原子力産業について など)について語りました。



浅野 さとし 氏

山田 修 氏

1) 2020年の展望

○浅野さとし衆議院議員

昨年は茨城国体が開催され東海村にも多くの方々やってきました。山田村長としては4年間の任期の折り返し点を過ぎましたが、この2年間の活動を通じて、東海村の魅力や今後の課題について、改めてどのようにお感じになっていますか。

○山田修東海村村長

本村の魅力は、自然環境や生活利便性に恵まれ、何よりも住民の心が豊かであること、そして更なる成長が見込めるポテンシャルを有しているところです。また、村民の郷土愛が強く、茨城国体での“おもてなし”も素晴らしいなあと感じたところです。今後も、村民との一体感を持って、村政運営に邁進してまいります。

一方で、本村も人口減少社会へ向かっていることを実感しており、対策等は喫緊の課題であると認識しています。ここ2年続けて年間出生数が300人に届かず、将来の学校運営への影響も懸念される場所ですが、一方で、待機児童解消に向けた対応も急務となっております。長期的な課題と短期的な課題を整理しながら、子育て支援を充実してまいります。

○浅野さとし衆議院議員

日本全体で見ると、2016年に初めて年間出生数が100万人を切りました。2018年までは90万人台を維持していましたが、2019年は86万人前後となる見通しだそうです。

子育て世代の方達は、子どもをもちたいと願いながらも職場環境や経済的環境などの理由であきらめる人も多くいるのが実情です。国は、昨年からの幼保無償化をスタートしましたが、こうした制度の充実と併せて、働きながら子育てしやすい職場・地域の環境づくり、施設利便性の向上などが鍵となっていくと思います。今後の取組みに期待申し上げます。

2) 地域医療の未来

○浅野さとし衆議院議員

昨年、厚生労働省が一部の公的病院に対し統廃合を含めた再編の検討を求めることを決めたことが国会で激しい議論になりました。東海村でも地域医療体制の拡充を求める住民の声は多いと思いますが、東海村における今後の地域医療の在り方について村長の考えをお聞かせください。

○山田修東海村村長

今回の村立東海病院に係る国の公表については、地域の実情等が全く考慮されず、霞ヶ関の論理で進められていることに不満を感じています。本村では、早速、独自に検証を行いました。診療実績等から身近な「かかりつけ医」としての機能を有しており、地域医療を支える重要な施設であると確信しております。

本村の今後の地域医療の在り方については、在宅医療が大きな課題であると認識しております。医療と介護の連携が進められていますが、限られた医療資源が機能分担されていく中で、在宅医療の充実には欠かせないものであり、村立東海病院の新たな役割として検討してまいりたい。

○浅野さとし衆議院議員

医療については、やはり高齢者の方々から大変多くの心配の声をいただきます。特に、ご自身で運転をされない方々の健康確保のためにも、在宅医療環境の充実は今後重要な政策課題だと考えています。昨年は村立東海病院の件もありましたが、国は杓子定規で医療機関の評価をすべきではなく、地域のニーズに応じて必要な医療環境を整備することが重要です。私も国政の中から地域医療の発展に取り組みますので、今後ともよろしく願いいたします。



3) 地域交通の未来

○浅野さとし衆議院議員

東海村内には路線バスが走っていますが、昔に比べれば本数も減少し、自家用車での移動が主となっています。高齢化社会で免許返納をされる方が増えていくことを考えると、これからの地域交通の在り方をどのように考えますか。また、国道6号線や国道245号線の渋滞対策については、これは国や県の仕事と思いますが、村長のお考えもぜひ聞かせて下さい。

○山田修東海村村長

地域公共交通については、デマンドタクシーと路線バスの組み合わせで、一定の需要には応えられていると感じていますが、今後の高齢化社会の進展を見据えますと、更なる充実が求められてくるものと思われます。全国的には、カーシェアリングやスローモビリティの導入などの取組みも始まっていることから、本村に相応しい新たな地域公共交通の仕組みを検討していくこととし、その実現を図ってまいりたい。

また、6号線や245号線といった幹線道路については、4車線化が着実に整備されることで、渋滞等の緩和は図られるものと思いますが、一方では、整備効果を沿線地域の活性化に波及させたいとも考えており、地域と共に十分に検討してまいりたい。

○浅野さとし衆議院議員

日本は人生100年の健康長寿社会ともいわれられていて、東海村をはじめ近隣市にはアクティブな高齢者の方々がたくさんいらっしゃいます。こうした方々の暮らしを支える足となる地域交通のさらなる充実が村民の皆さまの期待でもあると思いますので、今後の東海村の取組みを私も応援していきたいと思っています。





4) 子育ての未来

○浅野さとし衆議院議員

東海村では、充実した子育て支援を求める子育て世代が多く住んでいますが、近年は近隣の市町村も子育て世代の経済的負担の軽減に取り組むようになってきました。そんな中、東海村が「とうかい版ネウボラ」を平成29年度からスタートさせたことに注目しています。この制度の運用状況や、今後の少子化対策について教えてください。

○山田修東海村村長

とうかい版ネウボラでは、中学校区ごとに「マイ保健師」を配置したことで、妊娠中や出産前後から、医療機関、助産師、他部署との連携がスムーズに行えるようになり、支援の輪が広がりました。また、「産後ママあんしんケア事業」や「BPプログラム」の導入で、ニーズに応じた専門的ケアが提供できるようになっており、今後とも子育て世代をしっかりとサポートしていきたい。

少子化対策の喫緊の課題は、待機児童の解消ですが、村立の新保育所整備と民間の小規模保育施設整備により、令和2年度から新たな受け皿を確保できる見通しとなりました。しかしながら、子育て世代の保育ニーズは依然として高く、村内の幼稚園・保育所の再編整備も急務となっており、できるだけ早期に方向性を示していかなければならないと感じています。

○浅野さとし衆議院議員

とうかい版ネウボラが順調に軌道にのっている様子が嬉しい限りです。今後も引き続き、子育て世代に選ばれる東海村の魅力をさらに高めていってほしいと思います。また、待機児童の解消については保育人材の確保が高いハードルとなっていますが、私としても、保育士の待遇改善や、職場の近くで子どもを預けることのできる職保近接の環境整備を後押ししていきたいと思っています。

5) 原子力安全・保全への道筋

○浅野さとし衆議院議員

東海村には東海第二発電所があります。去年は広域避難訓練も実施されましたが、実効的な防災計画を策定するために考えている事はありますか。また、運用・保守・廃止措置など幅広い分野での人材確保・育成は国家全体の課題にもなっています。こうした状況の中、村として人材の確保・育成にどのように取り組んでいかれますか。

○山田修東海村村長

本村は、東海第二発電所における防災対策として、実効性ある広域避難計画の策定が求められています。本村では、これまでも避難訓練等の実施により、計画内容の検証等を行ってまいりましたが、引き続き、課題の洗い出しや訓練の継続により、住民理解の普及に努めてまいります。なお、今後は、県と連携した広域避難訓練の実施が欠かせないとも感じています。

また、原子力人材の育成については、これまで取り組んできた「原子力人材育成・確保協議会」の活動が定着し、一定の成果を上げていていると感じていますが、全体的な傾向としては、原子力産業への理解が未だ十分とは言えません。特に、若い世代の方々に対しては、就職先の選択肢の一つとして選んでもらえるように、積極的なアプローチを続けていく必要があると感じています。

○浅野さとし衆議院議員

おっしゃる通り、広域避難計画については、これまで村が検討してきた項目のほか、県や国が検討しなければならない項目もあると思います。移動手段の確保や中継点等での対応人員の確保など、県や国と連携しながら検討をすすめるべき項目もありますが、「安全はすべてに優先する」という言葉のとおり、村民の安全を第一に考えながら今後も丁寧な検討・情報公開を進めていただきたいと思います。



6) 2020年の抱負

○浅野さとし衆議院議員

最後に、今年は東京オリンピック・パラリンピックがある年です。選手の皆さんもメダル獲得という目標にむけて頑張っていると思いますが、山田村長の今年一年間の目標や抱負があれば聞かせてください。

○山田修東海村村長

昨年は、茨城国体でホッケー競技が盛り上がりましたが、一過性で終わらせないように、東京オリパラとの相乗効果も期待しながら、「ホッケーのまちTOKAI」の実現に向けて努力していきたいと思っています。

今年は、新たな総合計画のスタートの年となりますので、村民の皆様と村の将来ビジョンを共有しながら、引き続き、持続可能なまちづくりの実現を目指していきたい。特に、人づくり(担い手づくり)は、最重要テーマであります。村民が様々な場面で輝き、その活動が次代へ継承されるような「人が循環する地域づくり」を目指していきたいと考えています。

○浅野さとし衆議院議員

茨城国体では、茨城県のホッケーチームの試合を東海高校のグラウンドで観戦させていただきましたが、選手たちのダイナミックなボールさばきに見入ってしまいました。スポーツの振興を私も全力で支援していきたいと思っています。また、第6次総合計画の策定を控え、1月には東海村議会選挙が行われます。より豊かでより安全に、幅広い世代の方々がともに暮らしていける東海村をめざし、議会での活発な議論にご期待申し上げます。本日はお忙しいところありがとうございました。

今年も各級議員団が一致結束し、地域活性化を進めてまいります。



衆議院議員
浅野さとし



茨城県議会議員
齋藤 英彰



茨城県議会議員
高安 博明



日上市議会議員
青木 俊一



日上市議会議員
伊藤 健也



日上市議会議員
助川 梧



日上市議会議員
白石 敦



日上市議会議員
粕谷 圭



日上市議会議員
堀江 紀和



日上市議会議員
豊田 茂



高萩市議会議員
大足 光司



北茨城市議会議員
今井 路江



北茨城市議会議員
鈴木 弥太郎



東海村議会議員
越智 辰哉

公式サイト



浅野さとし 略歴

- ▶ 1982年9月生まれ(37歳)、衆議院議員(1期)
(株)日立製作所日立研究所研究員
日立労組研究所支部執行委員
大畠章宏 前衆議院議員秘書

